



市内図書館

- 中央図書館 (LIC はびきの内) 軽里 1-1-1 ☎950-5501
- 陵南の森図書館 島泉 8-8-1 ☎952-2750
- 羽曳が丘図書館 羽曳が丘西 2-5-1 ☎957-5553
- 丹比図書館 樫山 251-1 ☎937-2355
- 東部図書館 古市 1541-1 ☎950-2002

- 古市図書館 ☎958-0050 (水～日曜日 10:00～17:30)
- ブックステーションはびきのコロセアム ☎937-7210 (火・木・金曜日 13:30～16:30)

■開館時間 10:00～18:00 (※中央図書館は 10:00～20:00)

●ちびっこサロン ～おはなし・手遊び・おりがみ など～

[日時] 8月10日(水) 10:30～
[場所] 森のゆうびん局 (市役所敷地内)

●図書館クエスト ～クイズに答えてカードをゲット!～

[期間] 8月21日(日)まで
[場所] 陵南の森図書館

●ブックステーションはびきのコロセアム 夏休み行事

- ◆コロだけスタンプラリー 8月30日(火)までの各開館日
- ◆工作教室 (8月2日(火) 11:00)
 - ・カード入れを作ろう <大人向け> 当日の開館時間 10:30～16:30
 - ・風鈴を作ろう <子ども向け>

●こわいおはなし会

陵南の森図書館	8月7日(日) 11:00
中央図書館	8月14日(日) 14:00

●朗読ボランティア入門講座

<講師:朗読ボランティアグループ「はびきの」のみなさん>

日時	10:00～12:00 9月8日、29日、10月27日、11月10日、 24日、12月8日、22日 (すべて木曜日)
場所	中央図書館 会議室

●書庫探検ツアー

[期間] 8月3日(水)～5日(金) 10:30～
[場所] 陵南の森図書館

先着 15人

申し込みは、
8月8日(月) 10:00より
中央図書館にて受付
(電話可)

●夏休み子ども1日図書館員

中央図書館	8月23日(火)～25日(木)	各日6人
陵南の森図書館	13:30～16:30	各日4人
羽曳が丘図書館	8月24日(水)	2人 (各館)
丹比図書館	13:30～16:30	
東部図書館		

[対象] 市在住の小学4年生～6年生
[申込] 8月5日(金) 10:00、各図書館にお越しください。※定員を超えた場合は抽選、初めての方優先

●講演会

「食とことばが子どもの脳を育てる」

<講師:平野 直美氏 (神戸女子短期大学教授)>
[日時] 9月17日(土) 13:30～15:30
[場所] LIC はびきの 視聴覚室
[定員] 80人 (当日受付、先着順)
※保育をご希望の方は、8月9日(火)～9月10日(土)に中央図書館までお申し込みください。(1歳半～就学前対象、先着7人)

8月のおはなし会		
中央図書館	28日(日)	13:30～
陵南の森図書館	14日(日)	11:00～
	20日(土)	15:00～
	21日(日)	・11:00(小さい子向き) ・11:30(少し長いお話を聞ける子向き)
羽曳が丘図書館	13日(土)、27日(土)	15:00～
東部図書館	10日(水)	10:30～
古市図書館	20日(土)	15:00～

※丹比図書館のおはなし会は8月はお休みです。

今月の休館日

8月31日(水)

※市内の全図書館が休館 (休館日以外は、日・祝も開館)

サラダボール

「幸せとは何か?豊かさとは?」

「貧乏とは、少ししか持っていないことではなく、かぎりなく多くを必要とし、もっともっととほしがることである。」
「わたしたちは発展するためにこの世に生まれてきたのではありません。この惑星に、幸せになろうと思って生まれてきたのです。」「人生は短く、あっというまです。そして、命よりも大事なものはありません。【出典:汐文社「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」著者:くさばよしみ】

2012年6月、ブラジルのリオデジャネイロで開催された「国連持続可能な開発会議」で、南米の国ウルグアイのムヒカ大統領(当時)がスピーチを行い、世界に衝撃を与え、多くの人の心に響き、そして多くの人が考えさせられました。

当たり前なことなのに、みんな感じていたことなのに、多くの人がそのことには触れず、まわりに合わせて生きてきました。まるで、裸の王様に出てくる村人のように。
消費社会の中で、豊かさの象徴として多くのものを手に入れ、その代償として、目の前の請求書とクレジットカードの支払いのために、働いて、働いて!結果として、恋人や家族、友達と一緒にゆっくりと食事をし、語り、共に過ごす時間がないと多くの人が嘆いています。慌ただしく生きにくくなった現代社会の中で、人々は勝者と敗者、虐げる者と虐げられる者などに位置づけられ、格差が生まれ、差別が生まれ、さまざまな問題が起こっています。

ムヒカ氏が日本人に向けたメッセージに次のことばがあります。「私がさまざまな場で提言してきた考え方は、

もしかしたら日本で伝統的に引き継がれてきた文化と、根底で通じているのではないのでしょうか。」と。かつて日本では、無理に富を求めようとはせず、行いが清らかであるがゆえに貧しく質素な生活に安んじていることを「清貧」と呼び、心の正しきこと、人としての尊厳を大切にしている生き方に美徳を見出してきました。最近よく耳にする「スローライフ」や「田舎暮らし」。必要以上に多くのものを欲せず、自分を大切に、人と人との関わりを大切に生きる。これもまた一つの生き方です。

もう一度みんなで考えてみませんか。自分にとって何が幸せで、何が大切で、そのために「今、何をすべきなのか」を。ほんの少しの心の余裕、譲り合い、思いやりで、人と人との間の争いを少なくすることができるのではないのでしょうか。

はびきの しじけんけいはつすいしんきょう ぎかい
羽曳野市人権啓発推進協議会